

八街市公共下水道事業 事業再々評価

(汚 水)

平成20年11月
千葉県八街市

事業の必要性 (汚水)

生活環境の改善
市民生活環境の改善
周辺環境の改善

公共用水域の水質保全
印旛沼流域の自然環境を守る

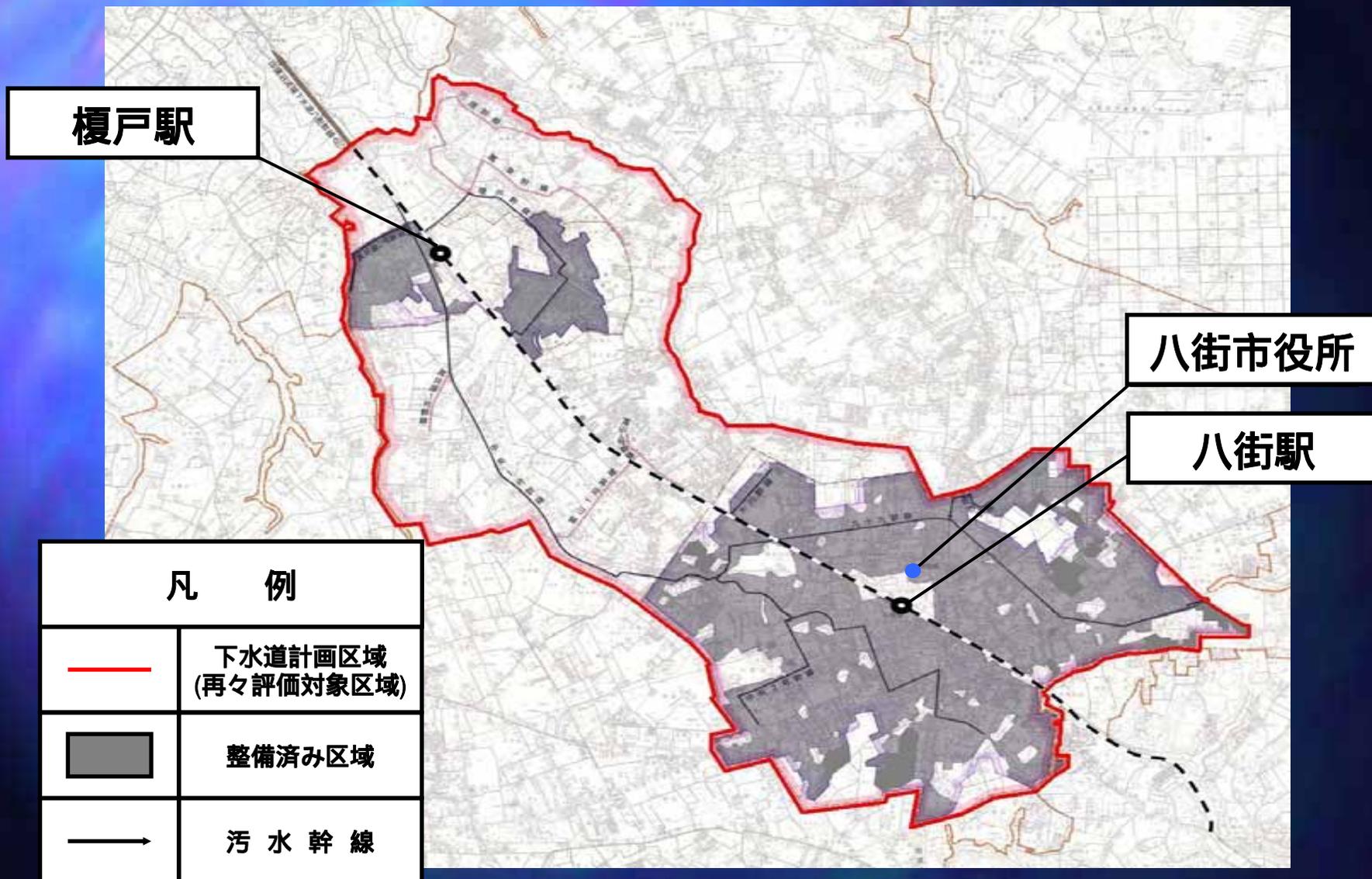


八街市榎戸地区の用水路



印旛沼流域の鹿島川

下水道事業の概要 (汚水)



指標1 費用効果分析 (汚水)

総便益 (B)	657億円
総費用 (C)	480億円
費用便益比 (B / C)	1.4

指標2 事業の進捗状況（污水）

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点での整備面積見込みは、事業計画507haに対して、422haを整備し、整備率は83%である。
処理場用地の取得状況	
処理施設の供用状況	
供用開始区域の接続状況	接続率は 93% である。
地元情勢等	市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

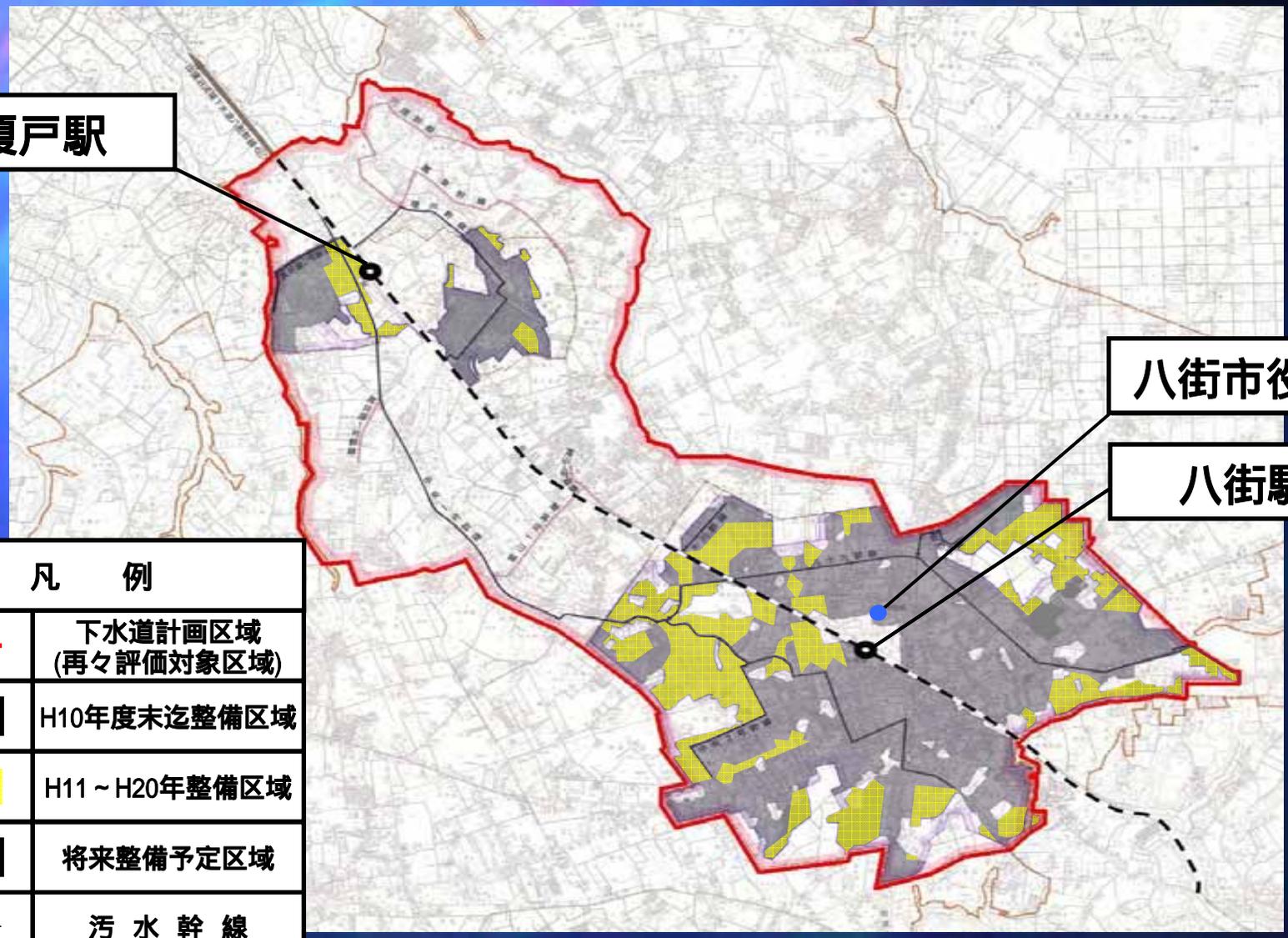
指標2 事業の進捗状況 (汚水)

榎戸駅

八街市役所

八街駅

凡 例	
	下水道計画区域 (再々評価対象区域)
	H10年度末迄整備区域
	H11 ~ H20年整備区域
	将来整備予定区域
	汚 水 幹 線



指標3 社会経済情勢等（污水）

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替案（污水）

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等への再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

対応方針(汚水)案

八街市公共下水道事業(汚水)は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続する方針です。